

2020 北海道レフェリーアカデミー 第2回(2019/20 第12回) 事業報告書

- 1 日時 令和2年5月24日(日) 10:00~12:00 web上で実施
- 2 参加者 審判員：小松祐也、田口平蔵、牧田隆史、高橋海星
インストラクター：古曾部統太郎 氏、今川一輔 氏、三上正一郎 氏、岡田渉 氏
オブザーバー：

3 研修内容

① English Serf Introduction ~ 高橋審判員による英語での自己紹介（5分程度）

- ・趣味, 夢について
- ・出身地の函館市について
- ・審判歴, 長所, 短所について
- ・尊敬する審判員について
- ・ニックネームについて…「海星」→「Starfish」→「？」

② 審判員プレゼンテーション 「審判員としての強さ」

牧田審判員：相手にうち勝つ優れた能力が有る様子（新明解国語辞典第六版より）
Strength(強固さ), Toughness, Power, Intensity(熱心さ)（オックス英和辞典より）
あるべき「強さ」…必ずやり遂げる, 強固さ, 支え, 熱心さ, 真剣さ
あってはならない「強さ」…支配的, 否定的, 社会的な権力

田口審判員：強さが伝わる時と伝わらない時を対比させて説明

①判定の根拠をもつ	} 誰からも信頼されるようになる
②必要に応じたマネジメントやコントロール	
③強い意志をもつ	

小松審判員：公平な判定を下す, 懲戒罰に頼らない, 圧力があっても冷静に判断,
勇敢な判断を下す, 競技者・ベンチ役員とのコミュニケーション力, … 色々あるが

- ①ミスを認める強さ
- ②弱さを強さに変える（一人ひとりが弱くても4人で協力することで強くなる）

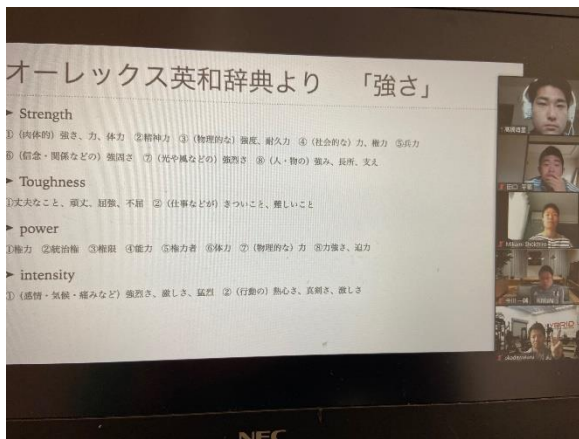
高橋審判員：「レフェリーを演じる力」=「レフェリーの強さ」
弱い自分をフィールド上で見せない, 心技体すべての要素の強さが必要
⇒「鎧を纏った強いレフェリー」
レフェリーを演じるためには, 日常生活からやるべきことをする

③ ディスカッション ~ 古曾部統太郎 氏

「Tactical Fouls」 映像を用いて、Holding の反則で警告される事象を確認した。

Tactical Fouls の判断で意識してほしいこと

- ・安易に懲戒罰（警告）を与えるものではない
- ・チャンスを想像しすぎない（先の展開を考えすぎない）, SPAの手前
- ・チャンスとは何かを整理（サッカーが何を求められているか、サッカー理解も必要）
- ・ボール保持者の状態を考える（前を向いているか？など）



④ フィジカル講義「Condition Check」 ～ 岡田渉 氏

- (i) 柔軟性 (Flexibility)
- (ii) 巧緻性 (Dexterity)
- (iii) 平衡性 (Balance)
- (iv) 筋力 (Muscle strength)
- (v) 瞬発力 (Quick response)
- (vi) 俊敏性 (Agility)
- (vii) 持久力 (Endurance)

上記7項目について、それぞれ達成度に応じて数値化し、新型コロナウイルス対策の自粛期間においてどれくらい維持できているか、web 画面を通してチェックを行った。

Web での講義は2回目であるが、エクササイズを取り入れた web 講義を実施できたことは、今後の web 活用において大きな試金石となった。

Condition Check

結果一覧

